



梓川の
世帯数・人口

世帯数 4,839 戸
人口 12,138 人
男 6,032 人
女 6,106 人

(令和 6 年 7.1 現在)



令和 6 年度

松本市消防ポンプ操法大会

6 月 2 日 (日) 市消防団トレーニングセンターでポンプ操法大会が開催され、消防ホースを延長して放水するまでのタイム、機械操作の正確性を競いました。

梓川地区からはポンプ車操法の部に 38 分団 (上大妻、南大妻、北大妻、小型ポンプ操法の部に 35 分団 (八景山、花見上野、丸田) が出場しました。ヘルメット姿の団員たちは、巻いたホースを担いで全力疾走し、水圧に負けないように両足を踏ん張って放水したりと、きびきびとした動きを披露しました。

結果は、38 分団が 6 チーム中 2 位、35 分団が 10 チーム中 3 位という成績で、市の代表として松本消防協会の大会へ進みました。

38 分団長の斉藤和亮さんは、「団員は、日々の活動に加え厳しい練習に耐え頑張っていました。大会が近づくと、チームワークも良くなり団結も強

まりました」と話していました。

また、35 分団長の岩原貴志さんは、「分団創設以来初の松本消防協会大会進出は、選手の頑張り、周りのサポートと協力がなければ出来なかった結果です」と話していました。

私たちが住む地域を火災や災害から守るため、日々活動をしている消防団の活躍に期待したいと思います。



▲小型ポンプ操法 (35 分団)



▲ポンプ車操法 (38 分団)



梓川小学校運動会

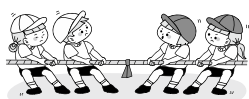
5 月 25 日 (土) 梓川小学校運動会が、5 年ぶりに全校開催されました。

今回は運動会定番のかけっこはありませんでしたが、みんなで協力して行う綱引き・玉入れ・二人三脚リレーやお楽しみみりレーが行われ大変盛り上がりしました。

1 年生のダンスでは、かわいいダンス姿につられ全学年が一緒になって笑顔で踊り、全校での大玉送りでは、赤組、白組それぞれが丸となりました。

小学校最後の運動会となる 6 年生の組体操では、一糸乱れぬ姿に会場からは大きな拍手があがっていました。

元気いっぱいに出し、グラウンドを駆け回る姿に見ている側も元気をもらえたのではないのでしょうか。どの学年も練習の成果を発揮し、全学年で作上げた運動会となりました。



▲組体操 (6 年生)



▲綱引き (3・4 年生)

梓川公民館 講座

上高地ウォーキング

5月20日(月)公民館講座「上高地ウォーキング」が行われました。

健康増進や、上高地の自然や歴史を学ぶことを目的として、大正池から河童橋までの約4kmを散策しました。

参加者の青木忠孝さんは「天気が心配だったが晴れて嬉しい。ウォーキングもちょうどよい距離で、景色を楽しみながら歩くことができた」と話していました。



▲遊歩道を進む

夏の寄せ植え こけ玉宿る箱庭づくり

6月24日(月)梓川公民館で、恒例の講座である寄せ植え講座が行われました。

ハンギングバスケットマスターの関原佳子さんを講師に、こけ玉とそれを飾る箱庭を作りました。

参加者は細かい配置にもこだわってこけ玉を仕上げていき、これからの季節にぴったりの、涼しげな印象の寄せ植えが出来上がりました。



▲こけ玉づくり

いざという時のために

6月16日(日)上立田公民館で参加者16人が「普通救命講習」を受講しました。

講師に梓川消防署の署員を迎え、心肺蘇生とAED(自動体外式除細動器)の使い方やケガの手当て、非常時の応急手当などを学びました。

心肺蘇生では感染症予防のため人口呼吸は行わず、胸骨圧迫(心臓マッサージ)を一

人60回ほど行いました。皆さん「救急車到着まで胸骨圧迫を行うのは大変だな」と話していました。AED操作では使用時の注意点に気を付けながら、皆さん真剣に取り組んでいました。命が助かる可能性は時間の経過とともに減っていきます。いざという時に一人でも多くの命を救うために、救急車到着前の一次救命処置がいかに重要であるかを学ぶことができたと思います。

日頃から事故や災害に対して準備・想定しておく事が、もしもの時に大切な家族や友人を守る事にもつながります。機会があれば「普通救命講習」を受講してみたいかがでしょうか。



▶胸骨圧迫とAED

八景山大橋

八景山から対岸の波田地区に通じる橋の名称が八景山大橋に決まりました。

この橋は、平成25年から通行止めが続いている県道のバイパスとして整備されているもので、令和8年度の完成を見据えて工事が進んでいます。

現在、国道側の橋台工事が行われており2基の橋脚の出現で、橋の完成がイメージできるようになりました。

八景山の平林 正吉町会長は「橋の完成は待ち遠しいが、



▲建設中の橋脚

安曇野方面からの交通量の増加も予想される。県道の安全対策も要望していきたい」と話してくれました。

新任分団長あいさつ



第35分団 岩原分団長

本年度、松本市消防団第35分団の分団長に就任しました岩原です。

第35分団は梓川西部に位置する八景山、花見、上野、丸田の4町会を管轄しています。現在在籍する団員は28人で、普段は会社員、自営業、学生など様々な仕事をしながら、

地域の防災ボランティア的な活動をしています。

毎月15日の市民防火の日には管内を巡回するほか、消火活動、災害対応、行方不明者の搜索などにあたっています。

近年は自然災害が増えており、令和3年8月の集中豪雨では、花見地区の住宅浸水の水防活動を行いました。

消防団は、地域の皆様の安全と安心を守る活動を行っていますので、皆様のご支援とご協力をお願いします。